

第1号様式（第4条関係）

申請書の作成日を

令和〇〇年〇〇月〇〇日

特定非営利活動法人
鈴鹿市スポーツ協会代表理事 様

(申請者)

組織（競技団体の名称）
と代表者名を記入

競技団体名 鈴鹿市〇〇〇〇協会

代表者名 会長 △△ △△

スポーツ振興事業交付金交付申請書

申請年度

令和〇〇年度鈴鹿市スポーツ協会スポーツ振興事業交付金の交付を希望しますので、鈴鹿市スポーツ協会スポーツ振興事業実施要綱第4条の規定により、下記の関係資料を添えて申請します。

記

- 1 スポーツ振興事業計画書（第2号様式）
- 2 スポーツ振興事業収支予算書（第3号様式）
- 3 当該年度の競技団体の総会資料（収支予算書、事業計画書、又は収支予算書（案）、事業計画書（案））

交付申請期間は、毎年度、スポーツ協会の総会終了後から5月末日までとなっています。
各競技団体の総会も、開催時期を合わせていただくと、事務手続きがスムーズになります。

スポーツ振興事業計画書

それぞれ各競技団体の計画の内容を書いてください。

事業名	〇〇〇競技初心者コース		
開催期日と回数	5月～12月 毎月第2・第4金曜日 9時～12時 計16回		
会場	石垣池運動公園 〇〇〇中学校体育館 など		
内容	〇〇〇競技の基礎から技術の向上まで		
参加対象	一般市民、男女	参加予定人数	30人（延480人）

定員

定員×回数

（事業の目的と成果目標）

初めて〇〇〇競技に取り組む人も含め、体を動かす楽しさを感じてもらい、日常的にスポーツに親しむ人が増えることを目的にする。

コース終了時に、参加者の半数以上が、〇〇〇競技を続けてやりたいと思うようになっている。

あまり、硬く考えないでください。
事業目的に沿って、競技団体が考えていることを書いてください。

（具体的な事業の内容と期待される効果）

運動の基礎である歩く、走る、簡単なストレッチングから始まり、〇〇〇競技の基本動作の繰り返し、上達度の状況に合わせたグループ分けによる技術力アップ練習など。

基本・基礎練習が進んだ段階でグループわけを行い、それぞれの目標ラインを設定することにより、目標に向けて継続する気持ち、期待感、達成感をもてるようになる。

開催回数に合わせて、どのようなことを、どれくらい、どのような順序で、などを考えておいていただくと、事業も進めやすいですし、記入もしやすいと思います。

第3号様式（第4条関係）

スポーツ振興事業収支予算

事業名	〇〇〇競技初心者コース
-----	-------------

(収入) (単位：円)

科目	金額	容
スポーツ協会交付金	50,000	
競技団体事業費	57,000	
参加者負担金	30,000	1,000円×30人
その他		
事業費計	137,000	

支出での交付金小計は50,500円ですが、千円未満切捨てで50,000円となります。

収入、支出の合計は合っていますか

(支出) (単位：円)

科目	事業に要する経費	左記のうちスポーツ協会交付金	内 容
交付対象	諸謝金	10,000	0 5,000円×2回
	会場使用料	64,000	50,500 △△施設 4,000円×16回
	消耗品費	18,000	0 テープ・石灰
	通信運搬費	4,000	0 郵便・はがき代
	印刷製本費	5,000	0 説明資料・出席簿
〇〇〇費			
小計	101,000	50,500(50,000)	
交付対象外経費	備品費	30,000	〇〇〇競技用具
	食糧費	6,000	講師弁当代・会議ペットボトル
	小計	36,000	
事業費計	137,000	50,500	

他に、対象経費があれば

対象経費の小計額に2分の1を掛けた額。8万円未満の場合は2分の1の額、8万円が限度額なので、8万円を超える場合は8万円が交付金額となる。

原則、謝礼に含んでいると考えてください。

※ 内容等が書ききれないときは、別紙（任意様式）を追加してください。

令和 年 月 日

様

特定非営利活動法人鈴鹿市スポーツ協会
代表理事 大川 智子

スポーツ振興事業交付金決定通知書

令和 年 月 日付けで交付申請のあったスポーツ振興事業の交付金の交付及び交付額を決定しましたので、鈴鹿市スポーツ協会スポーツ振興事業実施要綱第6条の規定により通知します。

記

- | | | | | | |
|---|-----------|----|---|---|---|
| 1 | 交付金交付額 | | | | 円 |
| 2 | 交付（振込）予定日 | 令和 | 年 | 月 | 日 |

報告書の作成日

第5号様式（第7条関係）

令和〇〇年〇〇月〇〇日

特定非営利活動法人
鈴鹿市スポーツ協会代表理事 様

（報告者）

競技団体の名称
と代表者名を

競技団体名 鈴鹿市〇〇〇〇〇〇協会

代表者名 会長 △△ △△

決定通知書の日付

スポーツ振興事業実施報告書

令和〇〇年〇〇月〇〇日に交付金の交付を受けたスポーツ振興事業を実施しましたので、鈴鹿市スポーツ協会スポーツ振興事業実施要綱第7条の規定により、下記の関係資料を添えて報告します。

記

- 1 スポーツ振興事業実施書（第6号様式）
- 2 スポーツ振興事業収支決算書（第7号様式）
- 3 スポーツ振興事業参加者名簿（第8号様式）

計画から変更があれば、実施した内容を

スポーツ振興事業実施書

事業名	〇〇〇競技初心者コース		
開催期日と回数	5月～12月 毎月第2・第4金曜日 9時～12時 計16回		
会場	石垣池運動公園 〇〇〇中学校体育館 など		
内容	〇〇〇競技の基礎から技術の向上まで		
参加対象	一般市民、男女	参加人数	32人（延498人）
<p>(実施した事業の具体的な内容)</p> <p>1回～3回 毎回、開始前にストレッチング、ウォーキング、軽いジョギングの後、〇〇〇競技の基本動作の反復練習</p> <p>4回～8回 ウォームアップ、基本動作の確認、〇〇基礎的練習</p> <p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>			
<p>(事業計画書に掲げた目的、成果目標と事業実施後の成果、達成度)</p> <p>技量ごとに少人数にグループ分けをしたので、到達熟度は違っても、グループごとの目標ラインには、一人も欠けることなく到達できた。全員に、真剣な顔と笑顔とが見られた。</p> <p>成果目標に、〇〇〇競技を継続する人数を挙げたが、21人がこれからも続ける、仲間グループを作るといっており、他の人でも、異なる競技に挑戦するという人もいて、スポーツに親しみ、たのしみたいという人が増えた。</p> <p>課題としては、継続した、グループを作りたい、技術をもっと上げたいといった人たちの声に、〇〇〇協会としてどのようにかかわっていくか。</p>			

事業計画、また、各競技の内容に沿って、どのようなことを、どれくらい、どのようにやったのか、大まかにまとめて書いてください。

あまり、むずかしく考えずに、感想的にでも結構です。

事業計画の内容と実施後の状況を比較してもらい、目的や成果目標がどの程度達成できたか、次には、こうやってみたい、この点を考えてほしい、などを書いてください。

第7号様式（第7条関係）

スポーツ振興事業収支決算書

事業名	〇〇〇競技初心者コース
-----	-------------

(収入) (単位：円)

科目	金額	内容
スポーツ協会交付金	50,000	
競技団体事業費	39,350	
参加者負担金	32,000	1,000円×32人
その他		
事業費計	121,350	

収支の決算額は合っていますか

(支出) (単位：円)

科目	事業に要した経費	左記のうちスポーツ協会交付金	内容	
交付対象経費	諸謝金	10,000	0	
	会場使用料	60,800	50,000	△△施設 3,800円×16回
	消耗品費	16,500	0	テープ・石灰
	通信運搬費	3,800	0	郵便
	印刷製本費	5,250	0	資料
	小計	96,350	48,000	
交付対象外経費	儀品費	23,000		〇〇〇用具
	食糧費	2,000		会議飲み物代
	小計	25,000		
事業費計	121,350			

対象経費小計の2分の1以内ですか。この場合は、決算小計の2分の1は48,175円（交付金額は48,000円）なので、受け取った交付金50,000円との差額2,000円が返還となります。

※ 内容等が書ききれないときは、別紙（任意様式）を追加してください。

※ 支出に伴う領収書等は、提出を求められることがありますので、大切に保管しておいてください。

第8号様式（第7条関係）

スポーツ振興事業参加者名簿

（講師）

No	氏名	住所	所属団体	資格等
1	〇〇 〇〇	鈴鹿市□□町・・・	△△高校コーチ	

資格をお持ちの方は
〇〇認定指導員と
か、A級指導員とか

（参加者）

No	氏名	所属団体名 (学校名)	年齢 (学年)	No	氏名	所属団体名 (学校名)	年齢 (学年)
1	□□□□□	特になし	45歳	16			
2	〇〇 〇〇	△△△△	28歳	17			
3							
4							
5				20			
6				21			
7				22			
8				23			
9				24			
10				25			
11				26			
12				27			
13				28			
14				29			
15				30			

団体に所属していなければ
「なし」でOKです。

参加者 32 人なの
で、名簿の追加あり

※ 記載欄が不足の場合は、コピーなどで追加してください。類似の出席名簿でも提出可です。

第9号様式（第8条関係）

清算書の作成日

令和〇〇年〇〇月〇〇日

特定非営利活動法人
鈴鹿市スポーツ協会代表理事 様

（報告者）

競技団体名 鈴鹿市〇〇〇〇〇〇協会

代表者名 会長 △△ △△

競技団体の名
称と代表者名

スポーツ振興事業交付金清算書

交付決定通知
書の日付

令和〇〇年〇〇月〇〇日付けで交付を受けたスポーツ振興事業交付金について、鈴鹿市スポーツ協会スポーツ振興事業実施要綱第8条の規定により、下記のとおり清算します。

記

1	予算額による交付金の交付額	50,000	円
2	決算額による交付金の交付額	48,000	円
3	返還額	2,000	円

交付金の額に減額変更がなければ、清算書は必要ありません。